# 音楽科学習指導案

## 大阪教育大学教員養成課程 兼平佳枝

#### 【準備】

- ・柱は六、七弦のみに立て、六=ソ、七=ラに調弦しておく。
- ・ 爪有り (親指のみ)
- ・2人で1面

# 1. 指導内容

[共通事項] 音色(筝の基本的な奏法「しっかり弾き」と音色)と曲想「指導事項」(2)器楽 ア、イ(イ)、ウ(イ)

**2. 単元名**: 筝の基本的な奏法「しっかり弾き」の音色を意識して《だるまさんがころんだ》を 弾こう

**3. 対象学年**:小学校第3学年

4. 教材:《だるまさんがころんだ》わらべうた

#### 5. 教材について

#### 【音楽の背景】

《だるまさんがころんだ》は鬼遊びで歌われる遊びうたである。10 拍を数える代わりに10 文字の文章を唱えることが行われ、《だるまさんがころんだ》という文章が選ばれたとされている。「だるま」はインドから中国へ仏教を伝えた達磨大師がモデルになっている。達磨大師には、壁に向かって座禅を続けて手足が腐ってしまったという伝説がある。今日のような「だるま」が生まれたのは江戸時代で、この達磨の座禅姿を、倒れても起き上がってくる起き上がり小法師に写し、不撓不屈の思いを込めたものとされている。

## 【音楽のかたち】【音楽のなかみ】【音楽の技能】

親指につけた爪で、絃の手前から次の絃に向けて押しつけるように弾くのが、筝の基本的な奏法である。この基本的奏法について、本指導案上では「しっかり弾き」と呼んでいるが、「〇〇弾き」のように子どもに命名させてもよい。親指につけた爪で絃を上向きに弾くように弾く「ひっかけ弾き」と比較聴取させることで、「しっかり弾き」によるはっきりとした力強い音色を知覚・感受させたうえで、「しっかり弾き」の音色から生じたイメージを意識して《だるまさんがころんだ》を演奏する技能を身に付けさせたい。

# 6. 指導計画:(全3時)

| ス・ | テップ | 学習活動   | 時数 |
|----|-----|--|----|
| 経  | 験   | 爪のつけ方と基本的な奏法である「しっかり弾き」の弾き方を知る。<br>ペアで交代しながら、爪をつけて《だるまさんがころんだ》を弾く。 | 1  |
| 分  | 析   | 「しっかり弾き」と「ひっかけ弾き」の音色を知覚・感受し、表現の工夫への手が<br>かりを得る。                    | 2  |
| 再約 | 圣験  | 「しっかり弾き」の音色を意識して、《だるまさんがころんだ》の表現を工夫する。                             | 3  |
| 評  | 価   | リレー奏で発表する。<br>「しっかり弾き」の音色についてのアセスメントシートを記入する。                      |    |

# 7. 単元目標・評価規準

| 評価の観点         | 単元の評価規準  | 具体の学習場面における評価規準   |
|---------------|--|---|
| 知識・技能         | 「しっかり弾き」の音色について理解し、イメージが伝わるように《だるまさんがころんだ》を弾く。                               | ★①「しっかり弾き」の音色を意識し、そこから生じるだるまのイメージが伝わるように《だるまさんがころんだ》を弾いている。<br>★②アセスメントシートに用語についての理解を示している。 |
| 思考・判断・表現      | 「しっかり弾き」の音色について知覚し、そこから生み出される特質を感受する。<br>「しっかり弾き」の音色を意識し、イメージが伝わるように表現を工夫する。 | ①「しっかり弾き」の音色を知覚・感受している。<br>★②「しっかり弾き」の奏法と音色を意識し、<br>自分がイメージした達磨の様子が伝わるように表現を工夫している。         |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 「しっかり弾き」の音色に関心をもち、意欲的に《だるまさんがころんだ》を弾く。                                       | ①筝の奏法と音色に関心をもって意欲的に「しっかり弾き」で筝を弾いている。 ★②「しっかり弾き」の音色に関心をもって 意欲的に《だるまさんがころんだ》を弾いて いる。          |

★は単元での子ども一人ひとりの最終的な評価を行うための評価規準を示している。

# 8. 展開

| 活動のねらい   | 子どもの活動                           | 指導者の活動        | 評価 |
|--|----------------------------------|---------------|----|
| 経験 爪のつける   | こと基本的な奏法「しっかり弾き」の弾               | 単き方を知る。       |    |
| ペアで交付  | 大しながら、爪をつけて《だるまさんか               | がころんだ》を弾く。    |    |
| ■《だるまさんがころん  | 1.ペアで《だるまさんがころんだ》                | ●達磨の写真を見せ、知   |    |
| だ》を探り弾きさせる。  | が筝で弾けるように歌いながら音                  | っていることを発言させ   |    |
|  | を探す。                             | る。            |    |
|  | T:(だるまの写真を掲示)こんなの見!              | ●「だるまさんがころん   |    |
|  | たことありますか?                        | だ」という子どものつぶ   |    |
| I Le   | C: だるま。                          | やきを拾って、全員で歌   |    |
| Salar arker  | C:選挙の時テレビの後ろで映ってた。               | わせる。          |    |
|  | C: だるまさんがころんだ。                   | ●だるまの文化的背景に   |    |
|  | <br>  <b>T</b> :だるまさんがころんだって言ってく | ついて知らせる。      |    |
|  |                                  | ●「今日は《だるまさんが  |    |
| The state of the s | ますか?                             | ころんだ》をお筝で弾き   |    |
|  | C: あるある!♪だ~るまさんが~こ               | ます。」と言って、六=ソ、 |    |
|  | ~ろんだ                             | 七=ラに調弦した筝を配   |    |
|  | T:もう 1 回みんなで歌ってみましょ              | る。            |    |
|  | 5.                               | ●爪、琴柱、絃の名称等、  |    |
|  | T: みんなはそんな歌で遊んでいるけれ              | 筝の基本情報について図   |    |
|  | ど、もともとは達磨大師という偉い                 | を掲示して確認させる。   |    |
|  | お坊さんがモデルになっています!                 | ●「お筝の楽譜は、こんな  |    |
|  | (達磨大師の絵を掲示)。                     | 風に縦に書かれていま    |    |
|  |                                  | す。歌は七から始まりま   |    |
|  |                                  | るので、「だ」は七ですね」 |    |
|  |                                  | と言って、掲示した縦譜   |    |
|  |                                  | に七のカードを貼る。    |    |
|  |                                  | ●「では、みなさんで続き  |    |



■爪の付け方と筝の基本的な奏法を大まかにとらえさせる。

2. 爪を付けて「しっかり弾き」で七の弦を弾く。

T: これまでは指で弾いてきましたが、 お筝は爪をつけて弾きます。みんな も爪をつけて弾いてみましょう。



■爪をつけた状態で大 3 まかに《だるまさんがこ 3 ろんだ》を弾けるように させる。

3. ペアで交代しながら、《だるま さんがころんだ》を弾く。 を探して《だるまさんが ころんだ》をお筝で弾け るようにしましょう」と 言ってペアで音を探させ る。

- 《だるまさんがころんだ》の楽譜を完成させ、歌と箏の役割を交代しながら通して演奏させる。
- ●親指にのみ、爪をつけるように促す。
- ●等に向かって左 45 度 の角度に向き、龍角の延 長線上に自分の右腰がく るように座らせる (立た せる)。
- ●手は卵を握るような形にし、龍角から2~3cmの七の絃に対して爪を45度の角度で当て、六の絃に向かって押すように促す。
- ●何度か弾いたらペアで 交代させる。
- ●手の形や弾き方を意識 させるようにはするが、 完璧を求め過ぎないよう にする。
- ●自分が弾かない時は、 絃の番号を旋律に合わせ て歌うように促す。

主体的に 学習 り組む (観察)

分析 「しっかり弾き」と「ひっかけ弾き」の音色を知覚・感受し、表現の工夫への手がかり を得る。

■筝の基本的な奏法の 音色を知覚・感受させ る。 4. (ア) と (イ) の 《だるまさん がころんだ》を比較聴取し、気づい たことや感じたことをワークシートに記入する。



●手元にパーテーションを立てて教師が演奏する。

●子どもに目を閉じるように促し、(ア)「しっかり弾き」の《だるまさんがころんだ》と(イ)「ひっかけ弾き」(爪で絃を上にひっかけるように弾く)の《だるまさんがころんだ》の演奏を聴かせる。

思考・判 断・表現① (ワーク シート)

- ■知覚・感受した内容を 共有させる。
- 5. ワークシートに書いた内容につ (ア)(イ)に対する子 いて発表し合い、イメージを広げ
- C:(ア)は、はっきりした音で元気な だるまだけど、(イ)は、ポーンっ て鳴って優しいだるま。
- C:(ア)は達磨大師が怒ってるけど、 (イ) は悲しそう。
- $T:(\mathcal{T})$  と (イ) はどんな音?
- C:(ア)は強いバンって音で、(イ)

は弱いポンポンって音。



- 現するための手がかり を得させる。
- ■筝の基本的な奏法を 6.ペアで交代しイメージを意識し 定着させ、イメージを表して「しっかり弾き」で《だるまさん がころんだ》を弾く。
  - T:お筝を演奏するときには、このよう な『しっかり弾き』をすることが基 本になります。
  - T:では、たとえば「元気なだるま」の イメージで弾くにはどうしたらいい と思いますか?

\_\_\_\_\_

- C: 少し強く弾いたらいいと思います。
- T: じゃあ、みんなで少し強く弾いてみ ましょう。
- C: ♪ (強めに演奏)
- T:元気なだるまさんの感じが出まし たか?

C: 出た!

- どもの発言を知覚と感受 に分けて板書する。
- 「みんながこれまで弾 いていたのはどっちか な?」と問い、(ア)であ ったことや奏法によって 音が変化することを取り 上げ「音色」という用語を 押さえる。
- ●知覚したこと(音色そ のものに関する発言)と 感受したこと(感じやイ メージに関する発言)の 対応関係がわかるように 板書する。
- (ア) (イ) の奏法に対 して子ども達の意見を取 り入れてそれぞれに「し っかり弾き」「ひっかけ弾 き」というように、用語と して確認する。
- ●「しっかり弾き」が筝の 基本の奏法になるという ことを伝える。
- ●板書の中から「しっか り弾き」によるイメージ をピックアップし、その イメージを意識して演奏 させる。
- ●演奏後にどんなことを 意識して演奏したかにつ いて発表させ、その工夫 についてクラスで演奏し て試してみる。

#### 再経験

## 「しっかり弾き」の音色と奏法を意識して、《だるまさんがころんだ》の表現を工夫する。

- かりを基に、自分たちの イメージに合った表現 を工夫させる。
- ■表現の工夫への手が | 7.「しっかり弾き」の音色によっ てもったイメージが表現できるよ うに、ペアで交代して演奏する。
- ●状況を見て団扇太鼓等│★思考・判 や筝でオスティナートを 入れる。
- ●オスティナート用の筝 は、必要な柱のみ立てた ものを 1 面用意してお き、希望する子どもがい たら演奏させる。

断•表現② (観察)

- ■作品の交流を通して イメージを表現するた めの工夫に気づかせる。
- 8. 中間発表をする。
- T:では、中間発表として3班に演奏し てもらいます。まずはイメージを言 って、どんな工夫をしたか教えてく ださい。伝わるかな?みんなは目を 閉じて聴きましょう。
- C:元気なだるまです。♪ (演奏する)
- T:お~!では、聴いた感想を教えてく
- C: なんか、元気なんだけど、だんだん イライラして巨大化してくるみた
- T:どうしてそう思ったの?
- C: だんだん強くなっていったから。
- T:なるほど。ただ強く弾くだけでな く、だんだん強くっていう工夫もで きるのですね。拍手!
- T: みなさん、こちらを見てください。 6 班はなかなかイメージが決まらな くて困っています。みんなで6班の 演奏を聴いてどんなイメージかを一 緒に考えてください。
- C: のんびりなだるまさん。
- T: どうしてそう思ったの?
- C:ゆっくり弾いていたから。
- T: なるほどね。6 班さん、参考にして
- みてくださいね。

- ●工夫が顕著な班を 1~ 2 班抽出し、イメージを 発表させてから演奏させ る。
- ●抽出班の発表を聴く際 は、イメージを思い浮か べながら聴くように促
- ●工夫されていた表現に 気づかせ、状況に応じて 全員でやっているように 促す。

★ 主体的 に学習に 取り組む 熊度② (観 察)

## 評価

リレー奏で発表する。

「しっかり弾き」の音色についてのアセスメントシートを記入する。

- 他者の作品のよさに気 づかせる。
- ■筝の基本的な奏法と 音色についての振り返│せる。 りをさせる。
- ■作品の交流を通して 9. リレー奏で発表していく。

  - 10.アセスメントシートに記入さ
- ●状況に応じて、団扇太 ★知識・技 鼓や筝でオスティナート を入れる。
- ●事前に録音済みの(ア) 「ひっかけ弾き」の《たこ たこあがれ》と(イ)「し っかり弾き」の《たこたこ あがれ》の演奏を聴かせ る。
- 能①(演 奏)
- ★知識・技 能② (アセ スメント シート)

◎本学習指導案は、以下の学習指導案を参考にしている。

小島律子 (2015) 「プログラム II-1 爪をつけて 2 つの音で基本奏法をする」 『義務教育 9 年間 の和楽器合奏プログラム―生成の原理の立場から―』黎明書房, pp.32-34

| +* |  |                | エゥ     |
|----|--|----------------|--------|
| だ  |  | 七              | だ      |
| るま |  | 七              | るま     |
| ま  |  |                | ま      |
| さん |  | 七              | <br>さん |
| が  |  | <mark>七</mark> | が      |
| Ĺ  |  | <mark>七</mark> | ٦      |
| ろん |  | 六              | ろん     |
| だ  |  | 七              | だ      |
|    |  | 0              |        |
|    |  |                |        |

# (しょかりがき

# ) を意しきして《だるまさんがころんだ》をひこう

# 3年 1組 番 班 名前

|     | どんな音から?     | だるまさんのようすやイメージ          |
|-----|-------------|-------------------------|
| (ア) | 強くてかびいている音。 | だるまさんのでんとみあいおとをたてているらす。 |
| (1) | 弱くていずかな音。   | かなしそう、ひとりま、ち、しずか        |

# プープシート (しっかりていき)を意しきして《だるまさんがころんだ》をひこう 3年 5組 豊 班 名前

|     | どんな音から?             | だるまさんのようすやイメージ |
|-----|---------------------|----------------|
| (ア) | 強い。止まってひいてはいうくりかえし。 | おこっている。        |
| (1) | かさしいなめらか。           | イスキップをしている。    |

アセスメントシート

# 

無高分たちのペアでイメージしただる食のようすと、そのためにどんな工夫をしたか を書きましょう。

わたしは、楽しくおで、ているよう))な

だるまのようすやイメージをあらわすために、

しっかりびきだけでやさしく

という工夫しました。

■今から2しゅるいの《たこたこあがれ》をききます。

それぞれどちらのひき方の音色ですか、会っていると思う方に口をつけましょう。 また、それぞれたこがどんな様子であがっているのか、イメージしたことを書きま しょう。

| ア. しっかりびきの音色 (ア) しっかりびきの音色 (イ) ひっかけびきの音色 イ. ひっかけびきの音色 たこの様子やイメージ こうかけびきの音色 (リ上が) たこの様子やイメージ ア・プランナ |                  | ①の (たこたこあがれ) | ②の (たこたこあがれ)     |  |
|--|------------------|--------------|------------------|--|
| この様子やイメージ。くり上が「全年の様子やイメージ」でいたこか  | いるようす。           |              |                  |  |
|  | ているようす。 ひはいられていて | たこの様子やイメージ   | たらの様子やくなージャットたこう |  |

アセメメントシー!

「しっかり弾き」の音色を意しきしておことをひこう

am 2 m a an

自由分からのペアでイメージしただるまのようすと、そのためにどんな工夫をしたか を書きましょう。

わたしはくすもってです生そう

)な

だるまのようすやイメージをあらわすために、

(さいしょをうつうできいごめこみだりの所をという生人する

■今から2しゅるいの (たこたこあがれ) を含きます。

それぞれどもらのひき方の音性ですか。合っていると思う方に〇きつけましょう。 また、それぞれたこがどんな様子であがっているのか、イメージしたことを書きま 。

| ①の (たこたこあがれ)   | ②の (たこたこあがれ)                   |
|--|--------------------------------|
| <ol> <li>て、しっかりびきの音色</li> <li>て、ひっかけびきの音色</li> </ol> | ア. (しっかりびきの音色)<br>イ. ひっかけびぎの音色 |
| 2KZE - 21/30   | あく上っている。                       |